

## 夏休み前のふりかえり

これまで発生した事故データを読み解く！  
事故防止のために、学校環境・体制の見直しを！



事故の発生を限りなくゼロにしていくための取り組みを



## 事故の総数は増加 「痛い」思いがあります

4月1日から7月19日までの教職員と学校施設に係る事故の発生状況をお知らせします。事故の総数は41件で、昨年度の同時期と比べ、増加しています。事故内容や事故発生月を見ると、今年度の事故の特徴が見えてきます。

まず、事故内容では負傷事故が15件と最も多くなっています。特に教室のロッカーの上に乗って掲

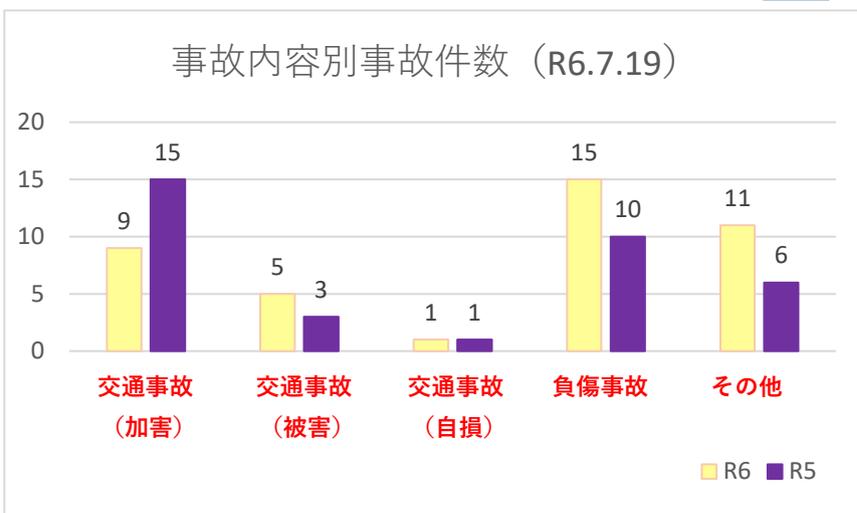
示物を貼っている最中に足を踏み外して転落したり、配慮を要する児童生徒が不安定になり落ち着かせようと指導した際に負傷したりするなど、高所作業中や児童生徒を指導中の負傷事故が増えています。また、交通事故15件のうち9件が加害事故というように、昨年度と同様、その割合が大きいです。加害事故のほとんどが運転者の前方不注意による追突事故です。その他の事故11件は、主に学校施設設備の破損、個人情報の取扱不備、児童生徒への不適切な指導による事故です。

次に、事故発生月では、年度始めの4月が最も多く、5月にやや減少しますが、6月に増加しています。昨年度に比べ今年度は、5月に発生した事故が増加しています。5月に発生した9件の事故のうち、6件は負傷事故です。教職員が児童生徒のためを思って行動したことが、教職員の負傷につながるようなことは、絶対に防がなければいけません。また、交通事故の大部分は、出退勤時に発生していることから、時間や心にゆとりのある運転により、未然に防止することができた事故もあると思われれます。さらに今年度は、個人情報を誤って処分したり、公の場に置き忘れたり、個人情報の取扱不備による事故が増えています。

事故の発生を限りなくゼロにしていくためには、これまでに発生した事故をもとに「どうすれば

事故を防ぐことができたか」、私たち一人一人が自分事として考え、意識していくことが大切です。さらに、教職員の皆さんの安全・安心を守っていくためにも、「高所作業時の留意点」「配慮を要する児童生徒への関わり方」「個人情報の取扱の仕方」など、学校の環境や体制を見直し、全職員で共有し実践することで、事故防止に努めてください。

個人で防ぐ、  
みんなで防ぐ、  
「痛い」思いゼロへ！



月別事故件数 (R6.7.19現在)

